

## 第16回 地域参画推進連絡協議会 議事録

1. 日 時 2019年7月1日(月) 13:00~15:00

2. 場 所 久留米シティプラザ 4階 中会議室2・3

3. 出席者

### 学外

久留米商工会議所会頭	本村 康人(欠席)
久留米市副市長	中島 年隆(欠席)
久留米市教育長	大津 秀明(欠席)
総合政策部長	國武 三歳
協働推進部長	秦 美樹
市民文化部長	宮原 義治
健康福祉部長	窪田 俊哉
子ども未来部長	大久保 隆
環境部長	甲斐田 忠之
農政部長	山口 文刀
商工観光労働部長	吉田 秀一
都市建設部長	長友 浩信
教育部長	井上 謙介
久留米商工会議所専務理事	穴見 英三(欠席)
久留米商工会議所事務局長	中島 誠治(代理出席)

### 学内

理事長	横田 君代(欠席)
学長	関 聡
幼児教育学科長	椎山 克己
フードデザイン学科長・教務部長	山下 浩子
宗教部長	阿久根 政子
学生部長	原 浩美
就職部長	山村 涼子
入試広報部長	岩瀬 由紀枝
常務理事・図書館長	井上 健一
地域参画推進センター長	新井 真実
短期大学事務長	高柳 恭子

## 1. 開会

短期大学事務長 高柳 恭子

皆様こんにちは。本日はお忙しい中、また足下の悪い中、当協議会に出席頂きまして誠にありがとうございました。私は本日協議会の事務局を担当しております短期大学事務長の高柳と申します。どうぞよろしくお願ひ致します。定刻より少し早めですが皆様お揃ひ頂きましたので、これより2019年度久留米信愛短期大学地域参画推進連絡協議会を開催致します。

議事に入ります前に資料のご確認をお願い致します。本日は事前にお渡ししておりました資料と机上にご用意致しました資料を中心に議事を進めてまいります。また、座席上には入試パンフレットをはじめとする資料一式をご準備致しております。どうぞよろしくお願ひ致します。

本日出席の皆様方のご紹介はお手元の座席表をご覧頂きたく存じます。委員の皆様の方の交替もごさいますが時間の都合上ご紹介は割愛させて頂きます。なお、本日本学院の理事長横田君代は体調不良のために欠席させて頂いております。本学院常務理事の井上健一が代理を務めさせて頂きますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

それでは、会議に先立ちまして本協議会会長であります久留米信愛短期大学関聡学長が皆様にご挨拶を申し上げます。

## 2. 学長挨拶

学長 関 聡

皆様こんにちは。本日は御多忙にも関わらず、久留米市総合政策部長國武三歳様をはじめ、重責を担う皆様方のご出席を頂き、心からお礼申し上げます。また、日頃から久留米信愛短期大学地域参画推進連絡協議会に温かいご支援を頂き、重ねてお礼申し上げます。

さて、本学院は現在「信愛ひらくプロジェクト」と名付けた取り組みを行っております。51周年の昨年度より、学校名を「久留米信愛女学院短期大学」から「久留米信愛短期大学」に変更致しました。私たちは信愛を「ひらかれた大学」にしようと考えております。男女の区別や年齢の差、環境の違いや障害の有無を超えた様々な人々に対して、それぞれの目的に応じた、すなわち地域の全ての人の夢を叶える学校にしたいと考えております。

もちろんカトリックの精神に基づく人間教育である「信愛教育」の精神は固く受け継ぎ「自己を他者に生かす」という教育理念のもと、教職員一丸となって教育活動及び地域参画活動を展開していく所存でございます。

本学が地域参画活動に本格的に取り組むようになりましてから今回の協議会で16回目の開催となります。これまでの会議におきましても、委員の皆様方におかれましては公務ご多端にも関わらず毎回慎重なるご審議並びに本学へのご期待やお励ましを頂いたことを改めましてお礼申し上げますとともに、今後も変わらぬご支援をお願い申し上げますとさせていただきます。

短期大学事務長 高柳 恭子

関学長ありがとうございました。引き続き久留米総合政策部長國武三歳様からのご挨拶を頂戴したく存じます。よろしくお願ひ致します。

### 3. 久留米市総合政策部長挨拶

久留米市総合政策部長 國武 三歳

皆様こんにちは。久留米市総合政策部の國武でございます。本日中島副市長の参加が叶いませんでしたので、代わりまして私の方でご挨拶を申し上げます。

日頃より横田理事長様、関学長様をはじめ久留米信愛短期大学の皆様方には、久留米市の発展と円滑な市政運営に多大なるご協力とご支援を賜りまして誠にありがとうございます。また、「豊かな心をもって社会の建設に貢献する人間を育成する」という教育目的・目標のもと、地域と連携した様々な取り組みを進めて頂き、今年で16回を数える本協議会が開催されますことに対しまして、深く感謝を申し上げます。

さて、昨年から今年度にかけても事業協力協定等に基づきまして、地域活性化に繋がる取り組みを様々実施して頂いております。「信愛つどいの広場」事業をはじめとした子育て支援の取り組み、また、「まちなか冬の賑わいづくり」事業での「信愛クリスマスショップ」の運営など、学生の皆さんと一緒にした取り組みに対し重ねて感謝を申し上げますとともに、今後の更なる発展を願うものでございます。

現在、久留米市では将来を見通した長期的な都市づくりの指針となります。新総合計画第4次基本計画の策定作業に入っているところでございます。この策定にあたりましては、地域社会を取り巻く社会経済環境の大きな変化への対応を盛り込んでいく必要があるという風に考えております。そのためには市民・事業者・団体・行政などが協働して取り組む都市づくりが必要でございまして、その中でも高等教育機関の役割は大変重要だと考えております。久留米信愛短期大学におかれましては、子育て支援の重要な担い手である保育士や、生きる上で不可欠な「食」に関する専門的な人材の育成に努めて頂いているところでございます。引き続き多くの優秀な人材を輩出し、多くの方々が地元就職をして、さらに地域の担い手となって頂けるようにご期待を申し上げますとともに、今後とも積極的な地域参画活動への展開をお願いします。久留米信愛短期大学の益々のご発展と皆様方のご活躍を祈念申し上げまして挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願い致します。

短期大学事務長 高柳 恭子

國武様どうもありがとうございました。それでは、これより議事に移ります。本協議会の議事は会長である久留米信愛短期大学学長により進行してまいります。それでは関学長お願い致します。

### 4. 議 事

学長 関 聡

それでは本日の議事を進めてまいります。始めに議題1大学の概要について事務局から説明をお願い致します。

短期大学事務長 高柳 恭子

お手元の議事資料1をご覧ください。大学の概要について関学長より説明をお願い致します。

(1) 大学の概要（議事資料1）

学長 関 聡

お手元の資料の1ページをお開きください。まず、久留米信愛短期大学の建学の精神と教育理念が載せてあります。次に久留米信愛短期大学の教育目的、目標が載せてあります。2ページ以降に久留米信愛短期大学の3つのポリシーが載せてあります。本学の地域参画事業は以上のポリシーに基づく活動でありますので、本学の建学の精神と教育理念へのご理解を頂きたく議題1に載せさせて頂きました。本学の建学の精神と教育理念へのご理解をどうかよろしくお願い致します。

議題1についてよろしいでしょうか。はい、ありがとうございます。

(2) 2018年度久留米信愛短期大学地域参画事業活動報告について（議事資料2）

学長 関 聡

次に議題2の2018年度久留米信愛短期大学地域参画事業活動報告に移ります。2018年度地域参画活動報告について、事務局からご説明をお願い致します。

短期大学事務長 高柳 恭子

お手元の議事資料2をご覧ください。2018年度久留米信愛短期大学地域参画活動報告に移ります。各担当からご報告をお願い致します。幼児教育学科長椎山先生よりお願い致します。

幼児教育学科長 椎山 克己

改めましてこんにちは。幼児教育学科の学科長をしております椎山でございます。幼児教育学科の2018年度に地域参画した活動は資料の5ページに記載しております。

まず子育て支援に関する活動として、本学おもちゃライブラリーの施設を活用し、地域子育て支援拠点事業であるつどいの広場事業として「信愛つどいの広場」を週3回延べ135日実施致しました。1年間に2,220名の市民の利用がありました。また、広場の開催に併せてスタッフによる子育て相談を実施し、43件の子育ての相談の報告が上がっております。詳細につきましては子ども未来部の方に報告させて頂いておりますので、ここでは省略致します。

また、つどいの広場事業の一環として子育て中の保護者を対象とした「子育て支援講座」を年に12回開催し延べ736名の受講者がありました。内容につきましては議事資料及び添付資料の2をご覧ください。特に本学の大学祭である「信愛祭」の中で行いました「信愛つどいの広場フェスティバル」では学生が企画した親子でできる遊びを中心に講座を行い、2日間で600名を超える親子の参加がありました。その他にも子育て支援講座の開催に伴う託児ボランティアや地域の幼稚園・児童福祉施設等が開催する行事の際に依頼を受け、学生がボランティアスタッフとして参加しております。8月には5日間に渡り幼稚園教諭を主な対象者とし「教員免許状更新講習」を実施しました。当初は延べ250名を受け入れる予定で開設致しましたが、受講希望者が殺到したため、急遽定員変更を文部科学省に届け出て、延べ340名の受講生を受け入れて実施致しました。

さらに2018年度から卒業必修の科目として「チャイルドプロジェクト」という科目を開講しております。この科目では地域の子ども子育てに関する課題や地域の活性化に関して学生自身が分野・研究テーマを選び、アクティブラーニングの手法を用いて研究活動を行っております。

2018年度は資料に記載している7つの研究会がそれぞれの活動を行う中で、地域活性化を目的としたイベント等への参加、子ども子育てに関する保育子育て支援の現場と連携した活動を17件実施しております。詳細につきましては資料16ページの地域参画推進委員会の活動報告にも記載しております。以上が主な2018年度の幼児教育学科の活動になります。

フードデザイン学科長 山下 浩子

改めまして皆様こんにちは。フードデザイン学科長を務めます山下と申します。どうぞよろしくお願い致します。フードデザイン学科の活動報告は次のページ6ページから7ページの真ん中辺りまで載せております。まず6ページの方ですけれども、フードデザイン学科の公開講座「みんなの食育講座」という風に銘打ちまして、ここに3つの講座を開講致しました。そして中程フードプロジェクト活動、これは今幼児教育学科の方でもお話がありました、学長からのご挨拶にもありましたけれども、2018年度「信愛ひらくプロジェクト」を見越しましてフードデザイン学科では2017年度から「フードプロジェクト」という科目を開講しております。この科目の開講によりまして、これまでの地域参画活動がより幅広く深いものとなりました。そこで1番目にありますチャイルドプロジェクトと共同で今回は「くるめ信愛菓」というお菓子を地元の和菓子屋さんと協働致しまして、開発を致しました。皆様のお手元の青い袋の中にもお土産として入れさせて頂いておりますので、是非その赤い箱の表のデザインも学生が考えておりますし、中には「くるめ信愛菓」があります。これができあがった経緯も書いておりますので一読頂ければと思っております。そして(2)地域参画活動と致しましてここに挙げているように内容が深くなったわけですけれども、例年通り上から2つ目の久留米市就学支援事業における食育ボランティアの経験。3つ目のところにあります久留米市環境部からご紹介を頂きまして「安武校区子どもエコクッキング」でのボランティア。それから中程下段の方になりますけれども「くるめフォーラム2018」にまた展示をさせて頂きました。それから久留米市中央卸売市場の方からお声掛けを頂きまして「市民大感謝祭市場まつり2018」の方にも出店をさせて頂いております。次は7ページの方ですけれども、3番目の1番上の食育事業への参画ということでこちらも同じく、久留米市中央卸売市場の魚市場の方からお声掛けを頂きまして「魚屋さんの調理教室」というのを例年開催させて頂いております。それから2番目に「第44回ふるさとくるめ農業まつり・くるめ食育フェスタ2018」にも参画させて頂きました。以上のところが主な内容ですけれども、あと4番食育講座で私共教員が講師を受託している点、5番目食育講座関連で本学の施設を開放している件、そしてその他と致しましては再掲になりますけれども地元企業と開発したという内容のことをもう一度挙げさせて頂いております。資料の方は後ろの方にあります新聞記事に載せて頂いた添付資料の3番目ですけれども「くるめ信愛菓」のこと、それからエコクッキングをさせて頂いた件が資料の4、その裏に魚屋さんによる食育講座ということで学生の方が沢山の魚で美味しい料理を作って一緒に頂く機会を頂きました。以上です。

宗教部長 阿久根 政子

初めまして、宗教部長のシスター阿久根でございます。よろしくお願い致します。宗教部では2018年に特別公開授業と致しまして、前期に「ユニセフの活動 ―世界の子どもの現状について―」というテーマのもとで渡邊先生から講演を頂きました。その講演の中でユニセフの活動を通して世界の貧しい子どもたちの現状を学び「ボランティア」の本当の意味についての講

演を頂きました。

それから2番目は「人間の尊厳について」というテーマのもとに1日練成会を行いました。神父様のお話の中から全ての命は神様からの贈り物、神の愛の印であるとの聖書の教えに基づいた「いのち」の大切さ、人間の尊厳についての講話を通して練成会を行いました。

次は宗教行事に移りますが、5月には聖母祭で聖母についてのお話とみことばの祭儀を行い、当日は世界の真の平和と学院の発展のため、また世界中の母親のために聖母マリア様のご保護と取次を願って、全学生・全教職員とともに祈りを捧げました。また11月の追悼祭では「死について」の講話とみことばの祭儀を行い、亡くなられた恩人、友人、親族の方々、またこの年に亡くなられました前久留米信愛幼稚園園長故シスター平田マルエ先生の霊魂の安息を願いつつ、静かな祈りのひと時を過ごさせて頂きました。最後にクリスマス祭が12月に行われたのですが、クリスマスについての真の意味についての講話とそれに続きましてキャンドルの行列が行われ、荘厳なクリスマス・ミサ聖祭が行われました。以上でございます。

教務部長 山下 浩子

教務部長を務めております山下です。よろしくお願ひ致します。資料の方は続けてその下ですが、教務部では例年高等教育コンソーシアム久留米の事業の一環と致しまして下にあります1. 単位互換、2. 共同講義を開講しております。単位互換の方は本学ではこの科目数開講致しましたが残念ながら履修者は0名でした。そして共同講義の方は全15回、昨年度は実はプレ講義という訳ではないですけれども、この共同講義は市民にも開放されているのですが、より多くの学生に受講してもらいたいということで1回多く16回開講がありました。そして本学の方ではその中で3回の講座を担当致しました。16回したのですけれども延べ人数としては235名ということでなかなか受講者の伸び悩みというのが課題になっております。それから教務部と致しまして、資料の方は後ろから4枚ほどめくって頂きましたところに両学科の2019年度のカリキュラムが裏表で一覧になっております。そちらと続けまして本学の履修証明プログラムの規程及び最後のページに2018年度のプログラムの内容を資料として添付致しております。2018年度残念ながら履修者は居なかったのですけれども、是非外部委員でいらっしゃる皆様方に見て頂きましてご意見を頂きたいと思っております。よろしくお願ひ致します。

学生部長 原 浩美

皆様こんにちは、学生部長をしております原と申します。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。まず学生部と致しましては地域の方から色んなボランティアのお誘いがございます。2018年度と致しましてはボランティア活動の報告を4点程させて頂いております。まずは久留米ユニセフ協会様からの4月と12月の街頭募金活動に、4月には学生3名教職員3名が、12月には学生7名教職員2名が参加しました。5月3日には清心慈愛園で行われた「地域交流会」に学生8名が参加させて頂きました。7月8日には筑後スロヴァキア・オペラ交流の会主催のオペラ公演時にスタッフボランティアとして学生9名が参加させて頂き、色々なお手伝いを担わせて頂きました。最後に12月16日でございますが北野学園で行われましたクリスマス会に学生が1名参加しております。色々な方面でこうやって社会勉強させて頂き本当にありがとうございます。

また、次2番にまいりますけれども信愛幼稚園でのボランティアです。これは「信愛フェスタ」日にちがございましてけれども、それとともに2番の「クリスマスお祝い会」でも色々と学生の方

が参加させて頂いて活動している次第でございます。

3番に移りますけれども、外部講師による講話でございます。まず依頼先と致しまして（1）久留米市協働推進部消費生活センター様より、最近ネット・スマホに潜む色んなトラブルについての実例をお話し頂き、学生の方へ注意を促すという風に4月当初にお話を伺うことができました。（2）と致しまして6月なのですけれども夏に向かって色んな防犯・安全についてということで久留米警察署様から本学学生対象にお話を頂きました。次（3）に移ります。こちらは本学の非常勤講師のカウンセラーの方なのですけれども、最近学生間で色々と少し問題に上がっておりますが発達障害について私どもも、私が1番かも知れませんが、発達障害についての知識あるいは現学生がどのようなかたちでお世話になっているのか現状把握から始まりまして、理解を深めるという本学教職員対象の講話を致しました。次のページまたぎまして（4）でございます。これは9月に久留米市協働推進部消費生活センターの方より学校における消費者教育の推進についてということで、本学教職員対象のお話を頂きました。

次に信愛祭でございます。51回目になりました。以下のような日時で行われました。動員数と致しましてはそこに書いてありますが、731名ということで沢山の方に来て頂いた次第でございます。3番目に今年から色々と地域から協力を頂いた企業と致しましてそこに15店程書いておりますけれども、出店をして頂きまして信愛祭の賑わいを非常に助けて頂き、協力して頂きました。ありがとうございました。以上でございます。

就職部長 山村 涼子

就職部長の山村でございます。どうぞよろしくお願い致します。就職部の報告としまして、最初に外部講師による就職支援講座としまして（1）就職ガイダンス、次のページの（2）保育職・栄養士職の職業理解のための講座（3）個別模擬面接指導、と記載しておりますように外部の方々のご協力のもと実施致しました。次に外部主催の講座やプログラムへの参画としまして（1）福岡市保育協会主催の就職説明会（2）福岡県私立幼稚園振興協会筑後・北部連盟主催のエントリーセッション2019（3）久留米市保育協会主催の就職説明会（4）福岡県私立幼稚園振興協会主催の私立幼稚園合同就職説明会（5）筑後中小企業経営者協会・高等教育コンソーシアム久留米主催の「若者と地元経営者との交流会」にそれぞれ学生が参加致しました。次のページのその他としまして、まず一つ目が「卒業生に対する専門就職先からの評価に関する調査」を実施致しました。最後ですが2018年度就職内定率、決定率、進学率及び久留米市内への就職者数ですが、昨年度は卒業生が82名おりましたその内就職を希望した者77名全員が就職内定致しましたので就職内定率は100%でございました。これは5年連続100%を達成することができました。昨年度は進学希望者ということで西南学院大学の方に編入学をした学生が1名おりましたので、その1名を除いた卒業生81名に対する実質の就職率としましては就職決定率95.1%という結果でございました。また内定者の内、久留米市内への就職者数は27名でこれは久留米市内在住の19名中17名、それから市外在住10名という内訳でございました。久留米市内への就職率としましては、就職内定者の35.1%という結果でした。以上で報告を終わります。

入試広報部長 岩瀬 由紀枝

初めまして入試広報部の岩瀬といいます。よろしくお願ひします。私の方からは入試広報部の広報活動と高大連携推進委員会による高大連携事業についての昨年度の活動報告をさせて頂きま

す。資料の12ページをご覧ください。入試広報部の広報活動については1番から6番までの内容について行いました。1番の高校訪問では1年間4期に渡って延べ223校の高校に全職員で分担をして訪問させて頂き、本学の活動内容や募集要項について説明させて頂いております。それから2番目6月6日は本学で高校の先生を対象として入試説明会を行いました。特に高校生に対しては夏のオープンキャンパスそれから受験生に対しては秋のオープンキャンパスで本学の学生と触れ合ってもらい、本学の良いところを体感して頂くというオープンキャンパスを行いました。4番目の進学説明会こちらは、1年間合計67の学校に参加して説明を行いました。内容としては入試説明や学校説明が主なのですが、その他に高校生の分野理解や職業理解のための講座というのがあります。ここでは本学の先生方が保育や栄養に関する専門の分野について高校生に模擬講義をするということで、高校生のキャリア教育に協力させて頂いているつもりで参加させて頂いております。その他にフードデザイン学科の授業を公開したり、個別の進学相談に対応したりしております。それから13ページです。すみません訂正がありますので、簡単に削除して頂きたいんですが、13ページの最初のタイトルが重複しておりますので、最初の高大連携という4文字を消してください。恐れ入ります。こちらは本学の高大連携推進委員会による高大連携事業です。特に南筑高等学校、明光学園高等学校、福岡海星女子高等学校、次のページの誠修高等学校、大牟田北高等学校、久留米信愛高等学校この高校での連携事業を行いました。特に南筑高等学校さんとは1年間に25回本学に来て頂いて、フードデザイン学科と幼児教育学科の専門分野の学びをしっかりと頂く「ライフデザインカレッジ」というのを今年も続けております。それから14ページの方では誠修高等学校の保育科の生徒さんを対象とした保育実習のための事前指導などをさせて頂いております。その他15ページです中学校の方へも出向いて出前講義を行ったりもしております。以上で活動報告を終わります。

図書館長 井上 健一

図書館長の井上でございます。よろしくお願い致します。議事資料の15ページの所に図書館としての地域参画活動を5つ程掲載しております。2番目の自殺対策パネルの展示につきましては、久留米市保健所様との企画ということで実施5年目でございますけれども、10月の1ヶ月間テーマを「こころの痛みをわかちあう」ということで展示をしておりました。主に1番と2番というのは地域参画といいましても狭い範囲であります学院内向けのものですが、4番5番というのは主に広く地域に向けた活動です。私どもの図書館は大学図書館でございますので、本来としては広く地域社会の皆様へ開放すべき所ではあるのですが、同じ学院キャンパス内に幼稚園・中学・高校とございまして、もう一方の性格として総合図書館ということでもありますので、安全対策等を考えますと日常的に開放するということは非常に難しいということで、如何にして地域の皆様へ開放するかということで苦戦しているところでございます。その中でも4番目公開講座を3回昨年度は実施しましたけれども、こういった内容よりはですね本来図書館として図書館に来て頂いて本を読んでもらうというのが1番大事なことではないかと思っておりますので、後ほど今年度の事業計画ということでご説明申し上げますけれども、そういった本来図書館としての地域開放活動をやっていくということで今検討しているところでございます。最後の5番目の小学生対象の「夏休み宿題イベント」を1回7月27日に実施しておりますけれども、こちらの方も回数を多くして欲しいとかですね、できれば夏休みの宿題の追い込みの時期である後半にやって欲しいとの声を頂きましたので今年度はそのようにさせて頂きたいと考えております。

以上です。

地域参画推進センター長 新井 真実

地域参画推進委員会です。地域参画推進センター長の新井と申します。よろしくお願い致します。資料の方は16ページをお開きください。まず1番、高等教育コンソーシアム久留米による市民向け講座等への協力につきましてご報告申し上げます。2018年度は(1)から(5)まで大きく5つの取り組みがございました。詳細は割愛させていただきますが、議事資料の通り2018年度コンソーシアム久留米関連の活動をご報告申し上げます。次に2番「第3回くるめ楽衆国まつり」への参画です。別紙添付資料の7番というのがございますのでめくって頂けますでしょうか。右肩に添付資料の7とあるページに、チラシの一部を添付しておりますのでご覧頂ければと思います。2つの企画で参画を致しましたが、まず①西鉄久留米駅東口広場エリアという囲みの中程に久留米信愛短期大学という記載がございますけれども、こちらは幼児教育学科からだあそび研究会が参画を致しまして、ステージパフォーマンスとワークショップを行いました。東口広場の特設ステージと久留米シティプラザ六角堂広場の2つの会場においてパフォーマンスと観客参加型のワークショップを行うというものでございました。もう1つの企画は同じ①番西鉄久留米駅東口エリアの左端の方にスイーツパン祭りという記載がございますが、その下に書いてございます。こちらの企画に関しましては、チャイルドプロジェクトとしまして幼児教育学科2年生の有志学生が久留米商工会議所様との協同企画として実施を致しました。特設ブースを開設しまして、商工会議所の皆様とご一緒に、久留米ホットドッグの紹介と販売を行いました。では議事資料の16ページの方にお戻り頂きたいと思っております。3番「第10回 久留米まちゼミ」への参画です。こちらのイベントに久留米信愛短期大学講座として2講座実施を致しました。主に働く女性を対象とする講座「美姿(びし)っと!ダンス and エクササイズ」を開催致しまして、会場は一番街にございますセレクトショップのOhanaさんを、商工会議所様の補助のもとお借りして開催しております。別紙添付資料の8番をご覧頂けますでしょうか。こちらの個展ポスターを制作して頂きまして、一番街の商店街とJR久留米駅コンコース及び市役所の方にも掲出をして頂きました。では、議事資料の17ページにお戻り頂ければと思います。4番の「第5回まちゼミKids」でございますが、詳細は割愛させていただきますが、夏休みの親子を対象とする講座と致しまして、計2回実施を致しました。別添資料も付けておりますので、後ほどご覧頂ければと思います。続きまして5番久留米市市民活動活性化・絆づくり推進事業補助金事業採択についてご報告を申し上げます。幼児教育学科からだあそび研究会の活動は、平成30年度久留米市市民活動活性化・絆づくり推進事業補助金に事業採択されました。こちらの採択に伴いまして、特に久留米市農政部農政課様と連携を致しまして、久留米の農産物や自然を感じながら子ども達が楽しく踊ることのできるダンスの振付及び普及活動を行わせて頂きました。別添資料の10-1、10-2をご覧ください。こちらに関連する新聞記事の一部を載せておりますが、このような活動を支援くださっております協働推進部様、農政部様、関係の皆様はこの場をお借りしてお礼を申し上げます。ありがとうございます。また、後ほどこの活動で制作を致しました「くるめさん、ぐるめさん」ダンスムービーの上映をさせて頂きたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。続きまして6番「第44回くるめ農業まつり・くるめ食育フェスタ2018」への参画でございます。詳細は割愛させていただきますがフードデザイン学科からの展示、そして幼児教育学科からの特設ステージ出演という2つの企画で参画をさせて頂いております。続いて7

番「冬めくあったかクリスマスバル」への参画でございます。こちらも詳細は割愛をさせていただきますが、幼児教育学科からステージ企画を2つ、そして先程フードデザイン学科長の方からもご紹介がありましたが、信愛クリスマスショップの出店を致しました。ページをめくって頂いて議事資料の18ページをご覧頂ければと思います。8番「カラダうたうココロおどる コドモもオトナも みんなつながるコンサート」を企画、開催致しました。こちらは主催が本学教育改革推進事業実行委員会、共催が本学地域参画推進委員会、そしてご後援を久留米市様、久留米市教育委員会様に頂戴しまして開催致しました。別添資料の13番をご覧頂ければと思います。こちらに当該イベントのチラシの抜き刷りを入れておりますけれども、このような形で第1部はトークセッション『いまをたのしむ「ひらく子育て」』として、ゲストに大原青子さん、音の和musicさんをお招きしまして、本学学長関聡を進行役にトークを行いました。そして続く第2部では音の和musicさんによる「みんなつながるコンサート」としまして、コンサートを開催しました。また、このコンサートの中で本学学生とのコラボレーション企画を設けまして、本学での学生たちの学びを多様な形で地域の皆様に広げる機会となったかと思っております。最後に9番、10番ですが、まず9番がJAくるめ女性部さんによるイベントへの参画です。先程ご紹介を致しましたが、食育を目指したダンスということで招聘を受けまして、このイベントの中でも披露させて頂いております。そして10番産学官連携推進Webサイトに係る本学データの提供です。こちらに関しましては別添資料をご覧頂ければと思います。2018年度も皆様のご協力のもと、数多くのそして新たな切り口での地域参画活動が実現できましたことを、深く感謝申し上げます。ありがとうございました。以上で活動報告を終わります。

学長 関 聡

以上2018年度久留米信愛短期大学地域参画活動報告につきまして、何かご意見ご質問等ございますでしょうか。それでは、議題2についてはご承認頂いたことと致します。

次に議題3、2019年度の活動計画について事務局から説明をお願いします。

(3) 2019年度久留米信愛短期大学地域参画事業活動計画について(議事資料3)

事務長 高柳 恭子

お手元の議事資料3をご覧ください。2019年度久留米信愛短期大学地域参画活動計画に移ります。各担当から報告をお願い致します。

幼児教育学科長の椎山先生より順にお願い致します。

幼児教育学科長 椎山 克己

幼児教育学科は議事資料3に記載しております通り、地域子育て支援に参画する事業として2019年度も信愛つどいの広場を開催し、月・火・木曜の10時から3時につどいの広場事業を実施致します。また、子育て支援講座を12回開催する予定でございます。8月には幼稚園教諭を対象とした教員免許状更新講習を5日間開催する予定です。定員は昨年増員致しましたのべ340名を予定しておりますが、すでに定員を満たす受講申し込みがありキャンセル待ちの状況でございます。また、昨年度から開設致しましたチャイルドプロジェクトについてですが、昨年度は2年生だけでしたが今年度からは1年後期から1年半の期間で開講致しまして、1年・2年生を交えた研究活動を行い更に地域社会と連携した活動を行うことを計画しております。その他に

も地域の幼稚園・児童福祉施設等と連携して保育現場で行うイベント等における学生のボランティア活動にも積極的に取り組んでいく予定でございます。以上でございます。

フードデザイン学科長 山下 浩子

続きまして資料の左から2つ目ですけれどもフードデザイン学科は、フードデザイン学科による公開講座、フードプロジェクトの活動、食育事業への参画、食育講座講師受託、食育講座施設開放、レシピ開発と例年通りですけれどもこのような項目を計画しております。各月ごとの予定はここに記載しておりますけれども、既に5月には先程もありました「魚屋さんの調理教室」ということで今年も久留米卸売市場の魚市場さんの方にお世話になっております。それから7月は今週の土曜日が1回目ですけれども安武校区の「エコクッキング」の方、久留米市環境部さんからのご紹介で学生が参画する準備ができております。8月の方も久留米市就学支援事業における食育ボランティアに参画することになっております。裏をめぐって頂きましてやはり左から2つ目ですけれども11月は上から2つ目のところですね「市民大感謝祭市場祭2019」こちらも既にお声掛けを頂いておりますので、予定を致しております。それから「第45回ふるさとくるめ農業まつり・くるめ食育フェスタ」への参画。例年ですと本学の信愛祭と日程が重なってここ数年学生が直に参画する機会がなかなか無かったのですけれども、今年度は予定がずれましたので、私どもも大いに参画するのを期待して準備をしていきたいと思っております。12月の「信愛クリスマスショップ」、それから2月には「エコクッキング」こちらは昨年を例に挙げましてこの頃に後もう1回する予定です。最後にその他のところにありますけれども、その他のところの1番最後ですね、久留米リハビリテーション病院様から声が掛かりましてこちらの地域連携事業、久留米市山本の街づくりに参画する予定にしております。以上です。

宗教部長 阿久根 政子

宗教部から計画を申し上げます。今年度の宗教部のテーマは、もちろん建学の精神に基づいたキリストの教えに基づいた価値観を身に着け、豊かな心を持った人間として社会に貢献できるように本年度は前期が「賜物としての生命」後期が「世界の平和」について学ぶことになっております。これらのテーマを通して特別公開授業、練成会等を行い、宗教行事を通して心の教育を目指したいと思っております。行事と致しましては5月に聖母祭が行われました。6月には先日6月26日に特別公開授業と致しまして「弱さの中のたくましさ」というテーマのもとに講演を頂きました。後期に入りましては10月に練成会、世界の平和について考える1日をとっております。11月には例年のごとく追悼祭、12月にはクリスマス祭を予定致しております。以上でございます。

教務部長 山下 浩子

続きまして教務部の方です。教務部はここにありますように高等教育コンソーシアム久留米の事業の一環である市内5高等教育機関による単位互換、それから共同講義を従来通り開講する予定です。4月のところ前期の分赤字表記しておりますが、これが高等教育コンソーシアムの事業によるものです。本学の方では8科目うち1科目は通年科目ですけれども授業を単位互換に開講しております。裏をめぐって頂きましてやはり赤字のところですが、後期は4科目その内1科目は先程申しました通年科目になっております。そして共同講義、今年は10月～11月の

間に今年は15回の開講予定ですが、その内10月の第1週に本学の教員が2講座担当する予定になっております。以上です。

学生部長 原 浩美

続きまして学生部でございます。まず今年度の計画の柱ですが、いつものように地域のボランティア活動や行事への参加を通じて地域へ貢献するとともに地域社会の一員としての自覚を持たせるという狙いを持ちまして、本年度も様々なボランティア活動への参加を推進することです。また、生活安全講話等色々な講話も従前どおり実施することを計画しております。まず4月はボランティア活動として以上のような、それと生活安全講話を既に致しました。5月も清心慈愛園でのボランティア活動、6月は安全についての講話、8月も同じく今年度は2回致すことになっておるのですが、安全についての講話ということで、こちらの方が今年度残念ながら久留米警察署の方と調整がうまくいきませんで、しかしながらDVDをお借り致しましてしっかりと学生の方にお話し、大切さ安全について学ばせているところでございます。9月になりまして、ときめきスポーツ大会こういうことも参加する方向でやっていきたいと思っております。教職員対象研修会も9月に行く予定でございます。裏になりまして、10月いつものように「筑後川ノーポイ運動」の方も呼びかけ、参加させたいと思っております。11月は「第52回信愛祭」ということで今年は少し時期をずらしましたので、いろいろな楽しみにしっかり活動して皆様方に来て頂きたいと思っております。12月はいつものようにユニセフ様とのご協力のもと活動させて頂きたいと思っております。その他のところに書いておりますけれども「学習習慣定着支援ボランティア」この参加がなかなか思うようっていないのですけれども、あきらめずに随時声を掛けながら参加の方向に向かわせたいと思っております。ご迷惑をお掛けしながらですが、よろしく願い申し上げます。以上でございます。

就職部長 山村 涼子

就職部の事業目標及び計画につきましては、そこに書いております通り地域のニーズを把握し幼稚園、保育所、地元産業会の要望にも考慮してキャリア教育を行い、地域社会で活躍し貢献する人材を育成する。幼稚園、保育所の園長や地元産業界の人事担当者等から直接指導を受ける面接講座や、卒業生による就職支援講座など本学独自の指導を行い地元への就職率の向上を目指すとしております。以下各月に挙げております計画につきましては就職部員が授業を担当しておりますキャリアガイダンスⅠ・Ⅱ、後は就職部との連携で実施をしていくつもりにしております。4月の面接講座栄養士・一般職と6月の保育職の面接講座は既に終了しております。9月のところの朱書きにしております「若者と地元経営者との交流会」これは高等教育コンソーシアム久留米事業として今年は9月20日に予定されておりますので、授業の一環で学生と参加するようにしております。次裏の方のページの11月のところの「学生と社会人のワールドカフェ」これは昨年は学生の参加が無かったんですが、一昨年参加がありまして久留米市共働推進部男女平等センター主催のもので恐らく今年も11月に予定されるのではないかとということでこちらの方に参加させて頂きたいと考えております。以下様々な計画や取り組みを通して今年度もしっかり就職支援を行い、成果を上げていきたいと考えております。以上です。

入試広報部長 岩瀬 由紀枝

続きまして入試広報部と高大連携事業について説明をさせていただきます。資料の通りですが、入試広報部としては面倒見の良い大学をアピールして入学者増を目指しています。現役生だけでなく社会人、男子学生、遠隔地からの学生、短大以外の進学希望者など多様な受験生に対応した情報を的確にまとめて広報網を開拓して告知していきたいと思っています。それから特に保育や幼児教育、栄養学の魅力を広く伝えて高校生へしっかり意識を上げて頂きたいと思っています。年間の計画については書いてある通りですが、進学説明会や個別のひらく相談会、オープンキャンパス、高校訪問などを通して本学の魅力をアピールしていきたいと思っています。高大連携事業についても表にある通りですが、特に市内の高校さんとの深い連携をこれからもっと進めていければと思っています。どうぞよろしくお願い致します。

図書館長 井上 健一

図書館でございますけれども、図書館の2019年度の事業目標と計画につきましてはそこに記載しておりますが、地域の教育活動の一助となるよう新たな事業として市内中学校からの職場体験学習の受入、小学生対象の施設体験を実施するという事で、その下の方の6・7・8・9月とですね職場体験研修(中学生)の受入という記載がございます。昨年度まで同一法人内の久留米信愛中学校からの職場体験を毎年受け入れておりましたけれども、本年につきましてはもっと地域の中学校の方からも受け入れさせて頂いて地域に貢献しようということで、今年度に入っただけのアナウンスでございましたのでどれくらいお申し込みがあるかと心配しておりましたが、既に6月につきましては、櫛原中学校から4名お見えになり体験が終わっております。それから今月は市立ではございませんけれども福教大付属久留米中学校から職場体験にお見えになります。それから8月は久留米信愛中学校とそれから、県が変わるんですけれども北茂安中学校、そして9月は牟田山中学校から職場体験に来て頂くということになっております。

それから先程も申し上げたんですが、小学生対象の図書館解放ということで今回は3回7月30日、31日、8月21日ということで実施致しまして、図書館としての地域参画活動を今回展開していきたいと考えております。以上です。

地域参画推進センター長 新井 真実

それでは最後に「その他」と致しまして、2019年度の活動計画をご説明致します。今年度も地域参画推進委員会を筆頭とする学内の各種委員会等が、種々の活動を行います。主な予定と致しましては4月「第4回くるめ楽衆国まつり」に参画させて頂きました。それから2枠下がりまして、6月より「久留米まちゼミ」が始まっております。資料裏面に移って頂きまして、引き続き右端の「その他」の欄をご覧ください。11月には「第45回ふるさとくるめ農業まつり・くるめ食育フェスタ2019」に参画をさせて頂ければと思っています。12月、中心市街地にて行われておりますクリスマスイベントに参画をさせて頂きたいと考えております。主には以上のものを計画しております。また、一番下の欄に記載をしておりますが、今年度も絆づくり補助金事業の推進や、第2回信愛ひらくフォーラムの開催も視野に入れて活動してまいりたいと思っています。本年度も引き続きご理解ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。以上です。

学長 関 聡

以上の2019年度久留米信愛短期大学地域参画活動計画につきましてご質問、ご意見がございましたらお願い致します。

はい、それでは議題3についてもご承認頂きました。ありがとうございました。

事務長 高柳 恭子

ありがとうございました。それではここで先程報告でもありましたように「くるめさん、ぐるめさん」ダンスムービーの上映を行います。準備を致しますので今しばらくお待ちください。

では担当であります地域参画推進センター長の新井より説明を致します。

#### (4) DVD視聴「くるめさん、ぐるめさん ダンスムービー」

地域参画推進センター センター長 新井 真実

このプロジェクトは、平成28年度にハイマート久留米様主催の「まちなか万博！」採択事業としてスタートしまして、平成29年度久留米市キラリ輝く市民活動活性化補助金事業として、平成30年度は絆づくり補助金事業として採択を頂きました。このようなご支援のもとで活動を続けた結果、この度、特に農政部様との連携によりまして「くるめさん、ぐるめさんダンスムービー」が完成致しました。未来を担う子どもたちに、久留米の農産物や豊かな自然をイメージしながら楽しく体を動かしてもらうことを主目的としております。現在学院ホームページ及びYouTubeでも公開しております。それではどうぞご覧ください。

～DVD上映～

ありがとうございました。

#### (4) 意見交換

学長 関 聡

それではこれより学外委員の皆様方から地域参画活動についてのご意見を頂戴したく存じます。これまでに各担当者が報告申し上げたことに限らず何でも結構です。本学の地域参画活動の推進においては協議会の皆様のご協力が不可欠でございます。是非、忌憚のないご意見をお聞かせ頂きたく存じます。お席の順にご意見を頂戴したくお願い申し上げます。

協働推進部長 秦 美樹

皆さんこんにちは。協働推進部長の秦でございます。協働推進部と申しますのは地域コミュニティ組織やボランティア団体、それから教育機関や事業所など地域社会を構成する様々な方々と協働によるまちづくりを推進している部局です。また人権啓発や男女共同参画の推進も担当しております。信愛短期大学の皆さんにも、様々な形で協働のまちづくりに参加、参画を頂いております。今日のご報告の中でも色々出てきたかと思えます。この場をお借りしてお礼申し上げます。特に男女平等推進センターで開催します「くるめフォーラム」につきましてはフードデザイン学科の皆さんによる食育活動のパネルの展示や、企業と共同開発されました苺のお菓子「くるめ信愛菓」の販売も行って頂きまして、大変好評であったと伺っております。また去年は女性に対す

る暴力根絶の象徴でありますパープルリボンの普及啓発のために、大学の敷地内にパープルツリーの設置をして頂きました。それからパープルリボンの配布にもご協力を頂きました。ありがとうございます。

それから今、視聴がありました幼児教育学科の皆さんには、市民活動・絆づくり推進事業費補助金を活用頂きまして、久留米農産物PR動画「くるめさん、ぐるめさんダンスムービー」を制作して頂いた他、様々な活動に取り組んで頂きました。この市民活動の補助金「絆補助金」と言っておりますけれども、学生による市民活動を積極的に応援するための学生枠というのを設けておりますので、ぜひ今後も学生の皆さんの自由な発想、柔軟な視点で活用頂きたいと思っております。今後とも引き続き地域活動やボランティア活動、並びに人権啓発や男女共同参画の取り組みにご参加、ご協力頂ければと思っております。若い力で協働によるまちづくりを盛り上げて頂きたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願い致します。

それから質問を1点いいでしょうか。男子学生が昨年から入学されていると思いますので、こういう風に変化があったかというか、こういう効果がありましたとか、あるいは想定外の課題がありましたとか、もしありましたら最後に少し教えて頂ければと思います。どうぞよろしくお願い致します。

学長 関 聡

ありがとうございました。続きまして市民文化部長 宮原 義治 様お願い致します。

市民文化部長 宮原 義治

皆さんこんにちは。市民文化部の宮原でございます。市民文化部では税や住民票、戸籍といった窓口の部門から、文化・スポーツ・生涯学習そして図書館といった分野まで本当に幅広い分野を所管し事業を展開しております。信愛短大の皆様方には日頃よりこうした事業に対して多大なるご支援ご協力を頂心より感謝を申し上げます。今日は地域参画推進の観点から文化・スポーツの分野について事業のご紹介とお願いをさせて頂きたいと思っております。

まずスポーツの分野でございます。東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催が来年に控えております。ここ久留米では陸上大国のケニア共和国と、格闘技系の非常に強いカザフスタン共和国が事前キャンプを行うことになっております。信愛短大の関学長様にも委員になって頂いておりますが、昨年立ち上げた実行委員会を中心にオール久留米の力を結集して事前キャンプのサポート、両国の交流事業、こういったものを展開していきたいと思っております。つきましては信愛短大の皆様におかれましても両国の食を通じた交流や、先程紹介のあったダンスなどの文化交流、そして各種イベント交流事業でのボランティア参加など色々な面でこのオリンピック・パラリンピックの輪に加わって頂きたいと思っております。日本でのオリンピック・パラリンピック開催は、一生一度経験できるかという貴重な機会ですので是非ともご参加ご協力のほどよろしくお願い致します。

次に文化芸術の分野です。久留米市美術館が平成28年11月から開館し、これまで約23万人の方に来場頂いております。様々な展示の他、美術館では石橋文化センターを一つのミュージアムと捉えた色々なアート活動を展開しておりますので、こちらへのご参加もお願いしたいと思っております。

最後に美術館とともに文化芸術の拠点であるここシティプラザについてでございます。シティ

プラザでは信愛短大様には六角堂広場でこれまでもダンスとか飲食のブースを設置して頂いており、街中の賑わい創出に大変なご協力を頂いております。今後もこうした活動をお願いしたいと思っております。また六角堂広場の横に、実はカタチの森という無料の休憩室がありまして、ここは未就学の子どもさんが集う場所となっております。ここでは毎日子どもたちの“お遊び”事業を展開しており、この事業についても何か連携ができないかと思っております。いずれに致しましても私どもの部では文化・スポーツを活用とした街づくりを進めており、信愛短大様の持つ教育研究機能や学生さんの若いエネルギーをお借り致しまして、様々な連携または事業の協力をお願いしたいと思っております。以上でございます。

学長 関 聡

ありがとうございました。続きまして健康福祉部長 窪田 俊哉 様お願い致します。

健康福祉部長 窪田 俊哉

皆さんこんにちは、いつもお世話になっております。健康福祉部長の窪田でございます。健康福祉部では新総合計画第3次基本計画に掲げる健康で生きがいがあるまちの実現を目標にして保健医療福祉が一体となった施策を展開しているところでございます。久留米信愛短期大学におかれましては「健康寿命を延ばす食生活」と題した食育講座を毎年開催して頂いている他、久留米市保健所の管理栄養士や保健師を派遣しております、短期大学1年生を対象とした食育教室において毎年多くの学生に受講して頂いております。近年平均寿命が延びる一方で糖尿病や癌等の生活習慣病の予防が大きな課題となっております。食生活の改善を図る取り組みを推進して頂いておりますことは、健康寿命の延伸において大変重要な取り組みでございます。市の取り組みにも大きくご貢献頂いているものでありますことに感謝申し上げますとともに、今後とも継続して実施して頂きたいという風に考えております。また、井上図書館長様のご報告にもありましたように自殺対策の一環として心の健康に関するパネルを図書館に展示して頂いております。久留米市における自殺者数は、年々減少傾向ではありますが依然少なくない方が自殺に追い込まれている状況でございます。久留米市は昨年度末に久留米市自殺対策計画を策定致しました。計画では自殺は個人の問題ではなくて社会の問題であるということと捉えて、市民そして様々な分野の専門家、行政が一体となって相互に連携協働し取り組み、いのち支えあうまち久留米の実現を目指しております。心の健康に関するパネルの展示についても市民一人ひとりがそれぞれ自殺対策の一役を担っているという意識の啓発に繋がっているという風に考えております。今後ともご協力よろしくお願い致します。こうした事業に引き続きご協力頂きますことと、今後につきましても健康で連携できる点も多いかと考えておりますので、どうかよろしくお願い致します。以上でございます。

学長 関 聡

ありがとうございました。続きまして子ども未来部長 大久保 隆 様お願い致します。

子ども未来部長 大久保 隆

子ども未来部の大久保でございます。よろしくお願い致します。子ども未来部では子どもの笑顔があふれるまちづくりを目標に、妊娠・出産から成人するまでの子どもと子育てを切れ目のな

い質の高いサービスで支援するという業務を担当致しております。少子化でありますとか、核家族化が進む中で安心して子どもを産み育てることのできる環境づくりを進めることは住みやすさ日本一の久留米を目指すために大変重要であると考えているところでございます。このような子ども未来部の業務の関係上当然ながら幼児教育学科とは連携させて頂く機会を多く持たせて頂いておまして、大きくは2つの面で、1つは人材育成の面、もう1つは子育て支援事業の実施の面で大変お世話になっているところでございます。まず人材の育成に関しましては市内の指定保育士養成機関として長年にわたり保育士の育成にご尽力頂いておまして、平成30年度も61名の保育士・幼稚園教諭資格者が卒業されておまして、その全員が就職されており市内にも人材を提供して頂いているところでございます。また市内で待機児童対策として実施しております保育士・保育所支援センター主体のセミナーでありますとか、保育士進学支援事業の周知にもご協力を頂いているところでございます。また子育て支援事業と致しましては、信愛つどいの広場事業を実施して頂きまして、年間延べ2,200人を超える親子の参加を頂いているところでございます。つどいの広場につきましては、子育て時期の親子の交流促進、子育て等の相談援助や講習等の実施、子育て情報の提供等も成果を上げて頂いているところでございます。今後についてでございますけれども、本市においても待機児童問題は大変深刻でございまして、この数年は減少傾向にございましたが今年4月の待機児童数は昨年から10名増の54人になっている等、その背景にあります保育士不足は大変深刻になっているところでございます。従いまして引き続き保育士等の人材確保、特に地域で働いて頂く人材の育成にご協力頂ければという風に思います。子育て支援事業に関しましても今年度子ども子育て支援事業の5年に1度の更新を行っているところでございまして、市民の方々のニーズを踏まえた施策の充実を図っていきたくと考えておりますので、引き続き信愛つどいの広場をはじめとする各事業のご協力をお願いしたいと思います。以上でございます。

学長 関 聡

ありがとうございます。続きまして環境部長 甲斐田 忠之 様お願い致します。

環境部長 甲斐田 忠之

こんにちは。環境部長の甲斐田でございます。環境部では、現在、世界的な動きとなっております地球温暖化対策に力を入れていこうと考えているところでございます。そうした中で、最近、2つの大きな動きが関心を集めています。1点目は食品ロス問題でございます。これにつきましては5月だったと思いますが、食品ロス削減推進法が成立し、国や地方自治体の責務も定められております。もう1点はプラスチック関係でございますが、海洋プラスチックごみ問題でありますとか、中国・東南アジア等でのプラスチックごみの受入停止という動きも出てきております。また、日本では、レジ袋の有償化という動きも出てきているところでございます。そういった中で、国では地球温暖化対策に資するようなライフスタイルに変えていこうという国民運動として、クールチョイス、賢い選択をしていこうということが進められております。久留米市としまして、6月1日付で「クールチョイス宣言」をしたところでございます。この中で、食品ロスの削減につきましても市民のライフスタイルとして浸透させていく必要があると考えております。先程ご紹介頂きました、「エコクッキング」につきましても非常にご協力を頂きましてありがたいと思っております。今後とも、食品ロスの削減あるいはプラスチックごみの抑制につきましても、どの

ような取り組みを進めていったら良いのか、有効な施策等につきましてご意見も伺いながら進めていきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

学長 関 聡

ありがとうございました。続きまして農政部長 山口 文刀 様お願い致します。

農政部長 山口 文刀

こんにちは、久留米市農政部長の山口でございます。農政部は農林水産業に関する業務を担っています。久留米市は農業が非常に盛んな地域で、米麦大豆をはじめ野菜・果樹・苗木など多種多様な農業が営まれております。その農業産出額が全国で25位、福岡県第1位の名実ともに農業都市であります。この農業都市久留米、久留米産農産物の認知度・イメージ向上を図るために先程からビデオで流して頂いておりますプロモーションビデオ「くるめさん、グルメさん」を作成したところです。この動画に幼児教育学科の新井先生をはじめ、からだあそび研究会の皆様素晴らしいオリジナルダンスを付けて頂き本当にありがとうございました。この動画につきましては農業者や農業関係者から非常に

高い評価を頂いているところです。今後も様々なイベントでの活躍を期待しています。また今年は、学生さんが踊って頂いておりますダンスの動画につきまして、市内の保育園や幼稚園などにご紹介していきたいと考えておりますのでよろしくお願い致します。ただ一つお願いがございまして、先程の議事資料の2-13の中で久留米市農政部農政課職員へのダンス「くるめさん、グルメさん」振り付け指導というのを記載頂いておりますけれども、実はこの席に私は、挨拶だけという形で参加させて頂いていたのですが、学生さんに無理矢理誘われましてダンスを練習させられてしまいまして、その時汗びっしょりになりその後仕事が出来なかった状況です。またイベントの時に、学生さんから「一緒に踊って下さい」という風に誘われるんですけども、誘わないで頂きたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。また、フードデザイン学科の皆様におかれましては、ふるさとくるめ農業まつり、市場まつり、そして魚屋さんの調理教室など様々ご協力頂きまして本当にどうもありがとうございます。これからも引き続きまして久留米信愛短期大学様におかれましてはフードデザイン学科、幼児教育学科様ともに様々な分野で久留米市の農業振興の施策にご支援ご協力を賜りたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

学長 関 聡

ありがとうございました。続きまして商工観光労働部長 吉田 秀一 様お願い致します。

商工観光労働部長 吉田 秀一

皆様こんにちは、商工観光労働部長の吉田と申します。どうぞよろしくお願い致します。日頃より信愛の皆様方には色々ご協力を頂いております。どうもありがとうございます。私の部では地域経済の活性化に関する様々な取り組みを行っているところでございますが、本日はですね部の取り組みとして大きく2点についてご紹介させて頂きたいなと思っております。まず一つは働く場の拡大と地元就職の促進に関する取り組みでございます。人口減少社会が進展する中で久留米市が将来に向けて元気であり続けるためには地域の企業が活性化をし、魅力的な雇用を生み出すことが大切であります。同時に将来の担い手として久留米の若い人たちに地元企業に就職して

頂くことがさらに大切だとそのように考えております。そのため久留米市では企業誘致に力を入れるとともに地元企業の魅力をまとめた冊子や動画を作製しまして、広く働く場の情報発信を行っているところでございます。また地場企業のインターンシップや合同会社説明会の開催により、学生と地元企業のマッチングの取り組みを進めているところでございます。そういった中久留米市内への就職率、これは2017年度の実績でございまして先程山村部長様におっしゃって頂いた1年前の数字ということで少し違いますが、市内の5つの高等教育機関の地元久留米市内への就職率は9.6%、これに対しまして先程の数字とはちょっと違いますが信愛様の数値は37.5%でございました。現在の売り手市場においても信愛短期大学さんの久留米市内への就職率は非常に高く、地元就職の促進ひいては地方創世の推進に大きく貢献をして頂いております、大変感謝をしているところでございます。続きまして2点目は、中心市街地の賑わいづくりに関する取り組みでございます。近年課題としております冬場の賑わいづくりの取り組みとして、先程紹介がありましたクリスマスバルあるいはクリスマスのイルミネーションの開催をしているところでございます。昨年のクリスマスバルでは信愛の皆様が地元商店街と一緒に盛上げて頂いております。からだあそび研究会によるダンスステージあるいは信愛クリスマスショップでの物販等積極的にご参画を頂いております。またシティプラザの前にあります久留米物産館では、これも先程山下部長様よりご紹介がありました「くるめ信愛菓」こちらの方も取り扱っております、地場製品の魅力とともに久留米のものづくりの魅力を発信をしているところでございます。大きくは以上でございますが、現在も信愛の皆様方には様々な面からご協力を頂いておりますが、今後とも引き続き久留米市の活性化にご協力を頂きますようどうぞよろしくお願い致します。私からは以上でございます。

学長 関 聡

ありがとうございました。続きまして都市建設部長 長友 浩信 様お願い致します。

都市建設部長 長友 浩信

こんにちは、都市建設部長の長友と申します。よろしくお願い致します。都市建設部は道路・河川・公園・市営住宅等の社会資本の整備管理を行うとともに都市計画や公共交通などの街づくりに関する分野を担う部署でありまして、地域の皆様方と連携をさせながら様々な取り組みを行っているところでございます。都市計画の諮問機関であります都市計画審議会の委員には、信愛短期大学から今日参加してございます原先生にご就任頂いております。ありがとうございます。地域の皆様方と連携した具体的な取り組みとしまして、市内の幹線道路沿いに季節ごとの色とりどりの花を植えて頂く「久留米花街道サポート制度」や道路の清掃活動などを行って頂いている道守活動、久留米では「道守久留米ネットワーク」という組織を中心に水の祭典前の明治通りの清掃等を行っております。また30年以上の歴史を持つ河川美化活動であります「筑後川ノーポイ運動」等がございます。都市建設行政はこうした市民のボランティアの皆様との協働により行政だけで行うよりも充実した高い効果が発揮されているものと認識しております。特に筑後川ノーポイ運動には学生部の活動計画にもありましたが、信愛短期大学からも毎年参加して頂いております。ありがとうございます。今後も引き続き安心安全快適住みやすさ日本一の久留米となりますよう道路河川等の美化活動、街づくりに関して地域の皆様方と連携した取り組みを進めてまいりますので、ご協力のほどよろしくお願い致します。以上です。

学長 関 聡

ありがとうございました。続きまして教育部長 井上 謙介 様お願い致します。

教育部長 井上 謙介

こんにちは、教育部長の井上と申します。どうぞよろしくお願い致します。皆様方におかれましては日頃から様々な教育分野での連携事業に取り組んで頂いております。本当にありがとうございます。本日は連携事業へのお礼とご協力をお願いをさせて頂きたいと考えております。どうぞよろしくお願い致します。まず食を通じた大学との連携についてですが、市内の中学校へ学校給食を提供しております久留米市中央学校給食共同調理場では毎年実習生の受け入れを行っておりますが、今年度は6月17日からの5日間フードデザイン学科の3名の学生の方に実習に参加頂いております。献立作成や食に関する指導案の作成などに熱心に取り組んで頂いております。ありがとうございます。また学校給食料理コンクールでは毎年大学の施設を会場としてご提供頂いております。本当にありがとうございます。続きまして高大連携事業でございますが、まず南筑高校との連携事業では幼児教育学科やフードデザイン学科のご協力のもとでライフデザインカレッジに参加させて頂いております。高校生にとって大学のキャンパスでしか味わうことができない大変貴重な体験となっているようです。引き続きご支援のほどよろしくお願い致します。

また組合立の三井中央高等学校との連携事業では昨年度は三井中央文化祭バザー部門にご参加を頂きました。ありがとうございます。今年度は後期に出前講座としてライフデザインコースの3年生に幼児教育や食物栄養等に関する講演と実技指導を行って頂く予定で現在調整をさせて頂いております。どうぞよろしくお願い致します。最後でございますが、学習ボランティアへの参加協力についてのお願いでございますが、市教育委員会では市内の児童生徒の確かな学力の育成のために放課後や夏休みなどに復習や宿題等、補完学習指導を行うためのボランティアを派遣する「久留米学力アップ推進事業」を実施させて頂いております。先程も説明にございましたけれども、この事業の実施にあたっては市内の学生や地域ボランティアの皆様のご協力が不可欠となっております。事業推進にあたり学習ボランティアの皆様の登録を募集しておりますので是非ご協力をよろしくお願い申し上げます。現在も皆様方には、様々な面からご協力をいただいておりますが、今後とも久留米市の教育行政の推進のためご支援ご協力を頂きますようどうぞよろしくお願い申し上げます。以上でございます。

学長 関 聡

ありがとうございました。続きまして久留米商工会議所事務局長 中島 誠治 様お願い致します。

久留米商工会議所事務局長 中島 誠治

皆様こんにちは、久留米商工会議所で事務局長を務めております中島と申します。本来なら今日は会頭の本村並びに専務理事の穴見が出席させて頂くこととなるはずだったのですが、先約で二人とも出張が入っておりまして今日は代わりに出席をさせて頂いております。よろしくお願い致します。久留米信愛短期大学様におかれましては先程ご報告ありましたように商工会議所の方で毎年4月にやっております、「くるめ楽衆国まつり」並びに「まちゼミ」、「まちゼミKids」等にご参加頂きまして本当にご協力ありがとうございます。お礼を申し上げたいと思いま

す。特に楽衆国まつりにつきましては平成30年がホットドックの販売、今年31年度はダンスを発表して頂いたというところで、今年度はあいにくの雨となってしまいまして、その前の年と比べて人出も心配したところではあったんですけども、雨の中六ツ門のトラックステージ並びに西鉄東口の方でしっかりと踊って頂いたというところで、感謝を申し上げたいと思います。またまちゼミに関しましてもご参加頂いております、このまちゼミの事業につきましては全国の商工会議所で行っております事業の中で日本商工会議所から事業表彰を昨年3月に受けたところがございます。話によりますと6つほど受けた事業の中で1番良かったというようなことも伝え聞いておるところでございます。これもひとえにご参加頂いております各事業所並びにご参加の皆様方の賜物だということもございます、本当にありがとうございます。商工会議所につきましては皆様よく御存じだと思いますけれども、地域の中小小規模事業者の経営の支援というのを主に行っております、事業所がいかに会計を改善して発展していくかというところでご支援をしているところがございます。主なものとしましては、新たな取り組みとなります事業に対する国や県、久留米市さんから補助金の活用、そういったものをいかに上手く使っていかかというご相談に対して支援をしているというところがございます。特に昨年今年にかけまして事業所の規模に関わらず必ず訪れるといわれています事業承継問題。それと働き方改革に対する対応、今年の10月に予定されています消費税の増税、それに伴う軽減税率制度への対応、またキャッシュレスへの対応というところでご取り組んでいるところがございます。それとともに地域の活性化というところで、楽衆国まつりやまちゼミ等、中心市街地の活性化それと地域の観光資源の開発ということで全国総本宮の水天宮さんで行うライトアップコンサート等もやっているところがございます。今後も商工会議所としましてはその2つの両輪ということで事業を進めていくということになると思いますので、今後ともいろんなご支援をお願いすることもあるかと思いますがご協力の程よろしくお願い致します。簡単ですけども以上でございます。

学長 関 聡

ありがとうございます。委員の皆様方本当にありがとうございました。先程の秦様のご質問ですけども今現在短期大学に9名の男子学生がおりまして、全て幼児教育学科に所属しておりますので、椎山学科長お願いします。

幼児教育学科長 椎山 克己

今2年生に6名、1年生に3名男子学生がおります。全体としてはですね今までよりも活動的になったなという学生の雰囲気はございます。一番心配しましたのが2年生今年就職なんですけれども、就職を受け入れる園がどのくらいあるかなと思いましたが、結構男子学生を採りたいという園も多ございまして、そういう意味では先程出てきました保育士不足を補う面でもっと男子学生が入ってくればいいかなと思っております。以上でよろしいでしょうか。

協働推進部長 秦 美樹

課題などはありますか。

幼児教育学科長 椎山 克己

特に課題等はございませんけれども、実習についてはやはり受け入れてくださる園との調整も

若干必要な園もございますが、今保育界も男子を受け入れると言うのがだいぶ定着してきておりますのでそういう意味では大きくは課題は無かったかと思えます。

学長 関 聡

では最後に総合政策部長 國武 三歳 様お願い致します。

総合政策部長 國武 三歳

総合政策部の國武でございます。最後になってしまいましたけれども、総合政策部では大学等と市の事業協力協定に基づく事業の推進、あるいは学術研究都市づくり推進協議会、それから高等教育コンソーシアム久留米などを通して、学術研究都市の取り組みをともに進めさせて頂いております。平成30年度は高等教育コンソーシアム久留米としてご報告があった通り、市民公開講座や共同講義、あるいはオープンキャンパスなど様々な事業に取り組んで頂きました。こうしたものを引き続きお願いするとともに、できましたら地域コミュニティ活動への参加なども機会がありましたら是非お願いしたいと思っております。本当に沢山の活動をされていますので恐縮ではございますが、そういう機会がありましたら是非お願い致します。これからのまちづくりにおきましては、持続的に成長可能な地域社会であり続けることが重要でありまして、その意味からは地域の将来を担う人材育成や学生の地元就職というのは、非常に大きなテーマでございます。さらに高等教育機関には、地域の活性化に00に向けた地域との協働の担い手として大いに期待をしているところでございます。誰もが住み続けたいと思えるまちづくりには、若い世代の方へのアプローチが重要で、そのためには学生の皆さんが持つ柔軟なアイデアや行動力が重要であります。今後とも私どもの担当であります、市の広報やプロモーションと言った分野をはじめ、様々な市政の分野でご協力をお願いできればと考えておりますし、また協働してまいりたいという風に考えております。本当に今日いろんな活動のご報告受けまして、大変僭越でございませけれども、久留米信愛短期大学というのは久留米市にとっては、本当に不可欠な教育機関の一つであるなということ改めて実感をしたところでございます。引き続き連携を深めながら学生が主体的にまちづくりに関わり、また地域の関心とか愛着をもって頂けるような仕組みづくりや地元就職をはじめとした若者定着に向けた取り組みを更に進めてまいりたいという風に考えております。今後とも皆様方のお力添えをよろしくお願い致します。本日は誠にありがとうございました。

学長 関 聡

ありがとうございました。最後に本学常務理事の井上健一が皆様にご挨拶と御礼を述べさせて頂きます。

## 5. 常務理事挨拶

常務理事 井上 健一

学校法人久留米信愛学院の常務理事の井上でございます。本来であれば理事長の横田がご挨拶すべき所ですけれども、あいにく本日は体調不良のため欠席となりましたので代わりに一言御礼

を申し上げます。本日は國武総合政策部長様をはじめ重責を担い御多忙でいらっしゃる皆様へ長時間この会議にご参加頂き、本学の教育活動・地域参画活動に対しまして貴重なご意見を賜り誠にありがとうございました。久留米信愛がこの地に招かれましてから半世紀以上、まもなく60年ということになります。市政130周年を迎えられた久留米市の半分にも及ばない歴史ではございますが、その間カトリック精神に基づく人間教育という根幹の部分は変わらないまま時代や社会の要請に応える形で当学院は変化を続けてまいりました。そしてこのたび冒頭に学長も申し上げましたけれども「信愛ひらくプロジェクト」と銘打った改革の一環として本学は昨年度から共学化致しました。先程ご質問頂きましたけれども現時点では決して多い人数ではない男子学生ではございますが、少ないながらも十分に存在感を発揮してこれまでとは違った活気を本学にもたらしてくれております。同様のことは同じく昨年度から共学しました中学校にも言えるんですけれども。この4月には高等学校の方も共学化となりましたので、創立当初から共学であった幼稚園も含めまして、今年度から学院全体が男女共学となりまして新たな久留米信愛としての第一歩を踏み出しているところでございます。新しい令和の年にふさわしく学院に集う学生、生徒、園児が「一人ひとりの花を咲かせる」ことができるよう学院の教職員一同教育活動・研究活動・地域参画活動に取り組んでまいります。久留米市には教育機関として久留米市の更なる活性化に貢献できますよう引き続き尽力してまいりたいと思っておりますので今後とも変わらぬご支援ご協力の程お願い申し上げます、御礼の言葉とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。

学長 関 聡

皆様本日は、長時間に渡り熱心なご討議誠にありがとうございました。心から感謝申し上げます。それでは最後に事務連絡をお願い致します。

## 6. 事務連絡

短期大学事務長 高柳 恭子

長い時間ご協力頂きまして誠にありがとうございました。事務連絡をさせていただきます。本日は先程から山下の方からもご紹介致しました、久留米市の菓庄古賀庄様との産学連携にて誕生致しました「くるめ信愛菓」をお土産に入れさせて頂いておりますので、どうぞご賞味ください。また、来年度もこの時期に地域参画推進連絡協議会を開催致しますので、皆さまお忙しい中とは思いますがご出席を頂きますようによりしくお願い申し上げます。お帰りの際にはお忘れ物のないようにお気を付けてお帰り頂きますように祈っております。本日は誠にありがとうございました。

## 7. 閉 会

学長 関 聡

これを持ちまして2019年度久留米信愛短期大学地域参画推進連絡協議会を閉会致します。皆様ありがとうございました。